

# コロナ禍でも活発な活動の年に

一般社団法人 全国さく井協会 第 48 回定時社員総会開く

(一社)全国さく井協会は6月17日、東京都中央区の鉄鋼会館で第48回定時社員総会を開催し、令和3年度事業報告、決算を承認し、令和4年度事業計画及び予算の報告を了承した。

総会の冒頭、足立敏之会長からビデオメッセージが寄せられ、その内で会長は「脆弱なインフラを立て直し、真の強靱化で強い日本を作りたい。その1つとしてさく井協会は暮らしと産業を支える“深井戸データベース更新業務”に取り組む。協会の総力を挙げて、高い評価を受けるものに仕上げなければならない。さく井業を含め建設産業の再生なくして日本の再生はない」と力強く思いを述べ、会員の更なる協力を求めた。



足立敏之会長からビデオメッセージ

令和4年度の事業としては、次の4つを挙げた。

①深井戸データベース更新業務の作業。②2つの資格制度“地下水利用設計管理技術者”“登録さく井基幹技能者”でそれぞれWeb講習会実施、筆記試験で合格者を出す。③役立つさく井技能士登録更新講習会を企画する。④例年11月開催していた臨時社員総会及びいい井戸の日のイベント中止。

最後に島田恭宏副会長が「昨年度はコロナ、コロナに追われてまとまったことができなかった。今年度は深井戸データベース更新、2つの新資格を実施とハードなスケジュールであるが、会員皆様の協力を得ながら進めていきたい」と挨拶し、総会を終了した。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため懇親会は行わず、解散しました。このような状況下でご出席いただいた皆様ありがとうございました。



総会会場



議長を務める島田恭宏副会長